

硬質秋まき小麦「つるきち」の高品質安定栽培法



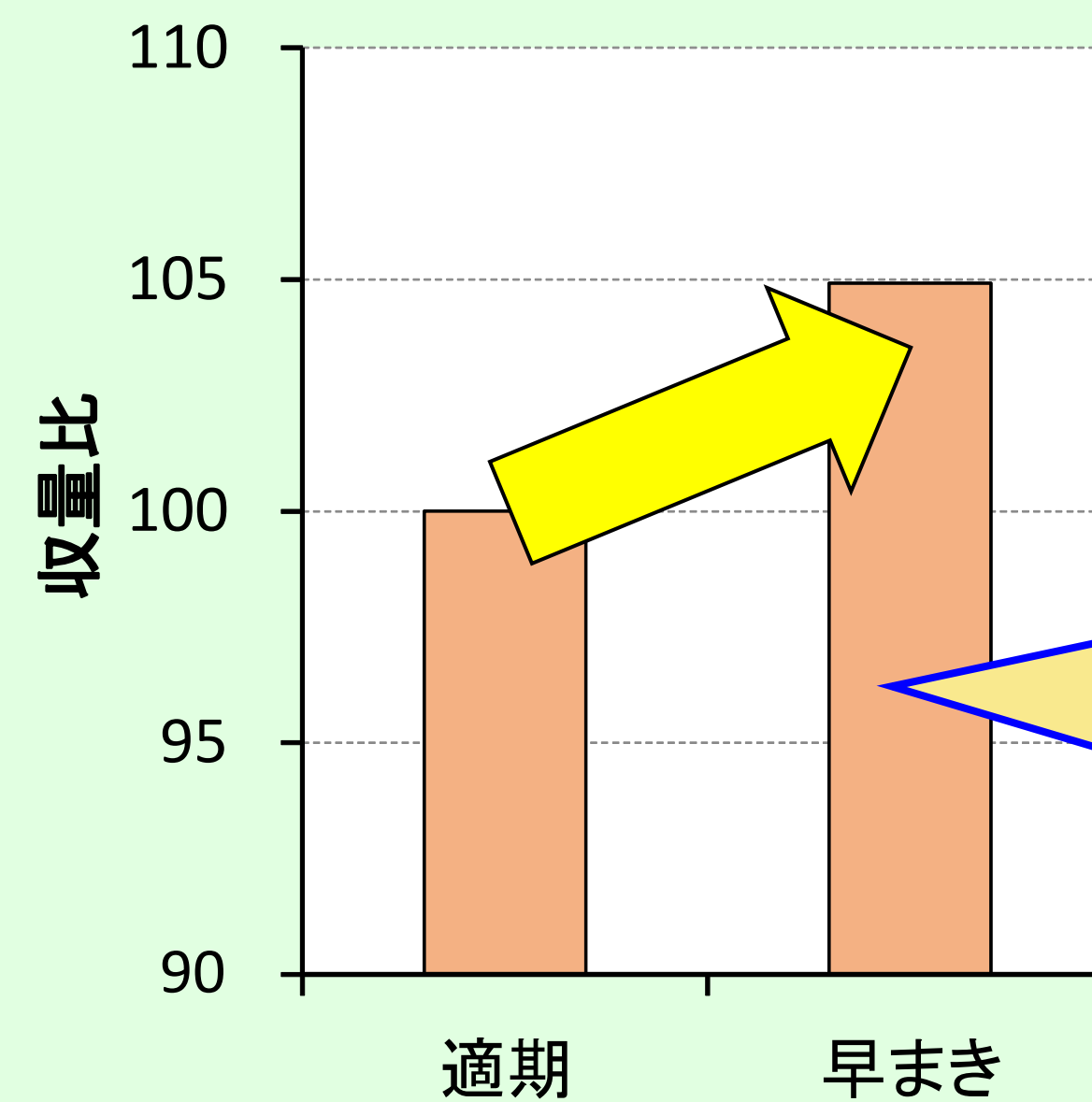
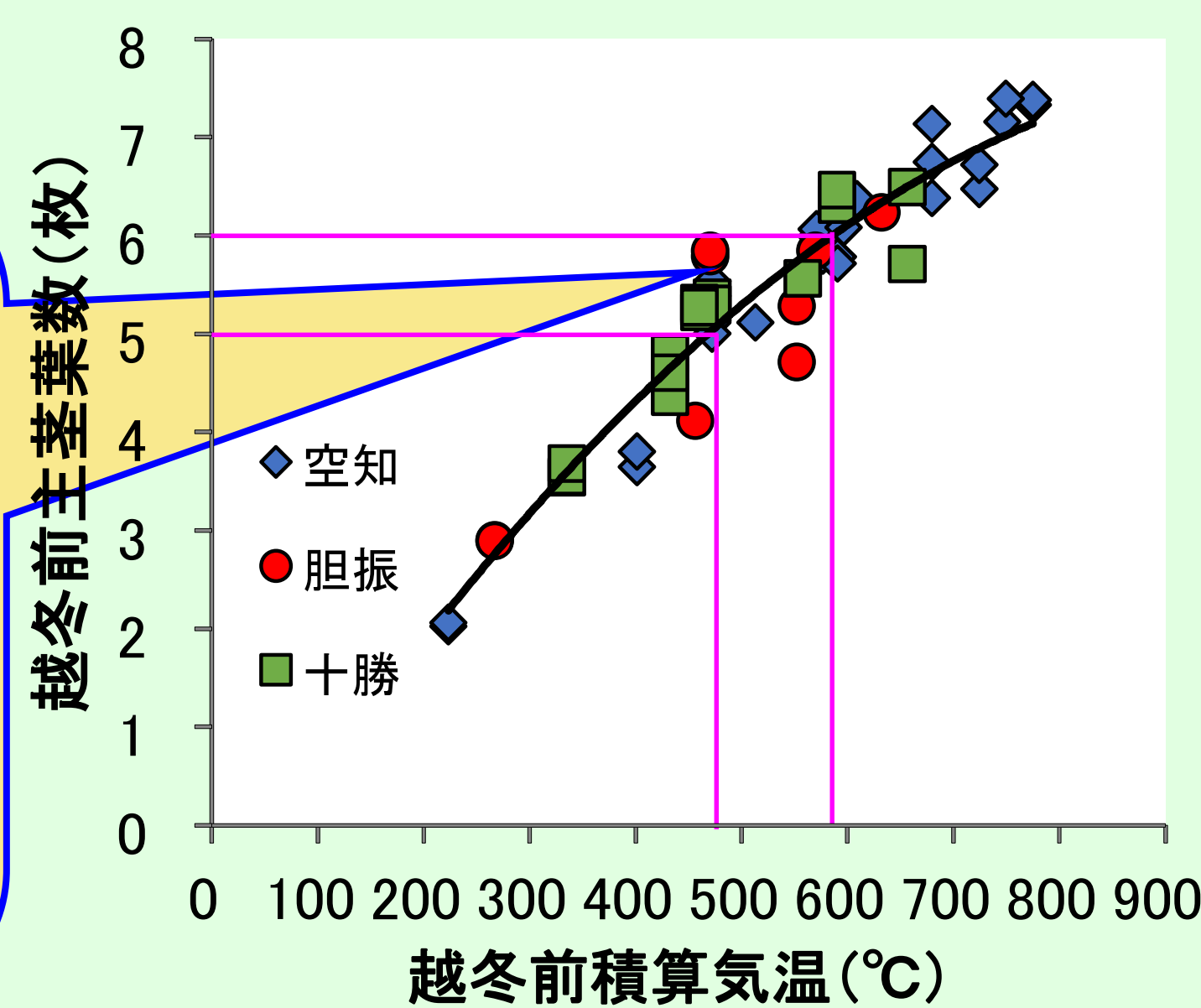
概要 Abstract

「つるきち」の栽培目標（収量600kg/10a、子実タンパク13%）の達成に向けた播種期、播種量、標準窒素施肥体系を定め、さらに施肥量の調整方法を示しました。

成果 Results

①播種期・播種量

積雪前に主茎葉数が
道央・道北で6葉
（積算気温590℃）
道東で5葉（同
480℃）が必要です。
ただし、伊達周辺は
道東準拠とします。



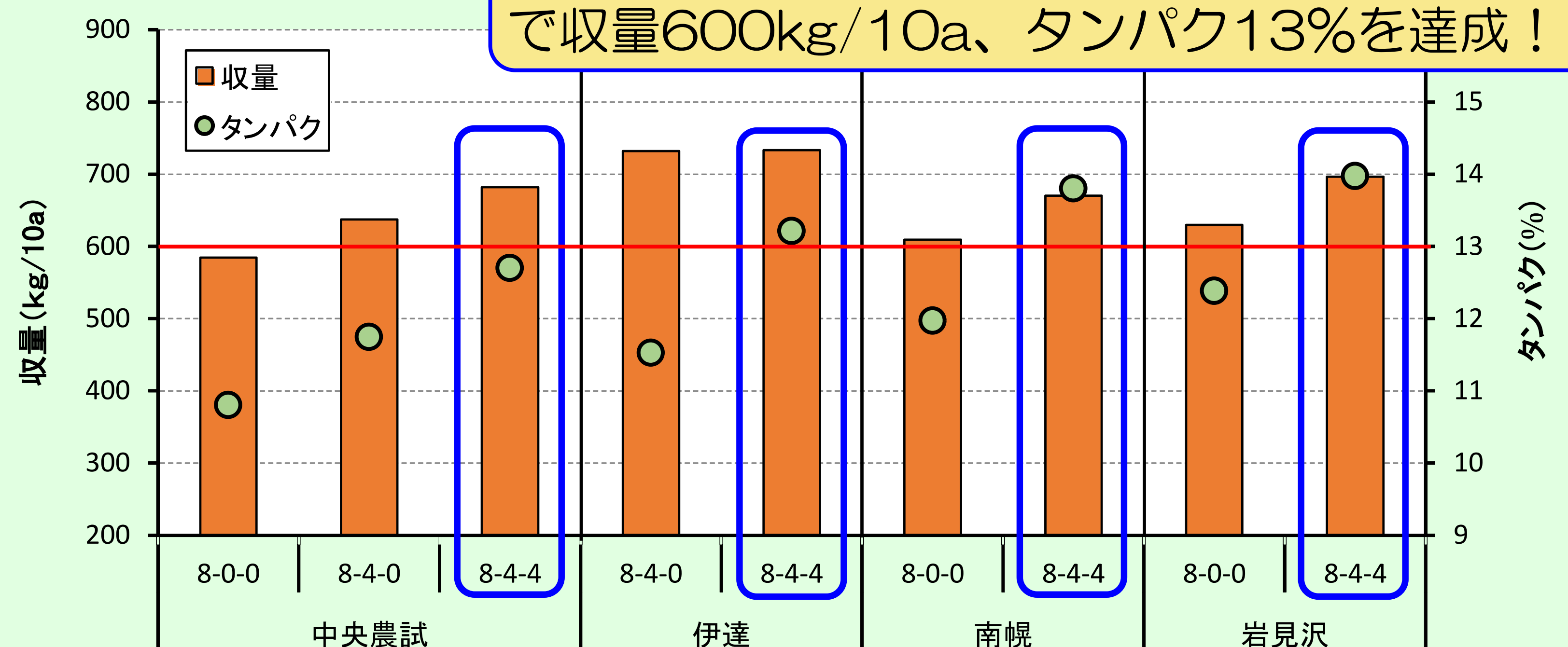
つるきは茎数が減りやすいため、多雪地帯では早まきによって増収します。温暖な伊達周辺では過繁茂になるので厳禁！

播種時期 (月/日)	播種量 (粒/㎡)	穂数 (本/㎡)	子実重 (kg/10a)	同左比
適 9/19	255	485	718	(100)
晩 10/2	255	393	586	82
10/2	340	460	597	83
極晩 10/15	255	412	541	75
10/15	340	508	551	77

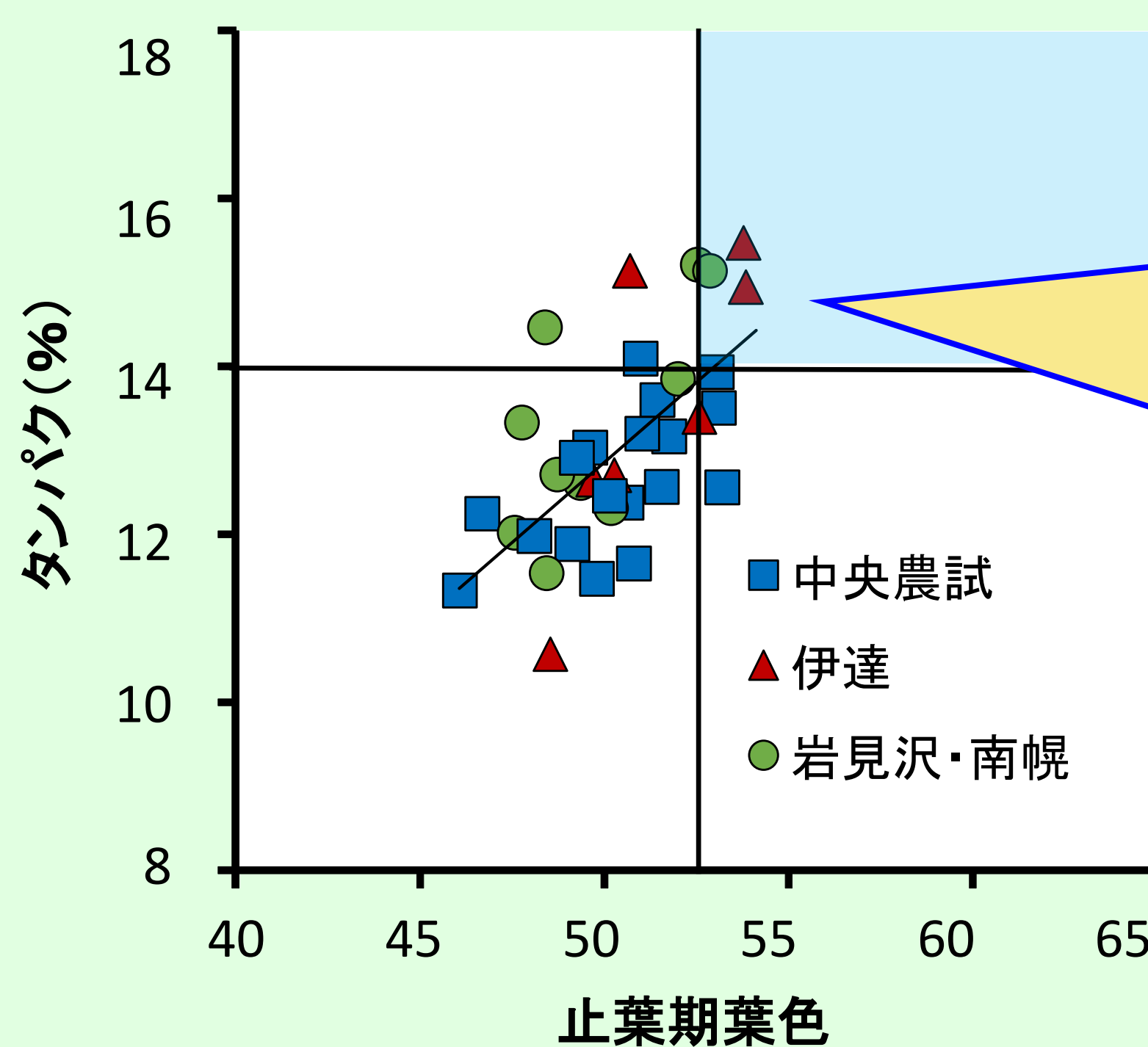
適期の播種量は255粒/㎡。播種が遅れると減収し、播種量を増やしても、減収緩和に効果はありません。

②標準窒素施肥体系

8-4-4（起生期—幼形期—止葉期 kg/10a）で収量600kg/10a、タンパク13%を達成！

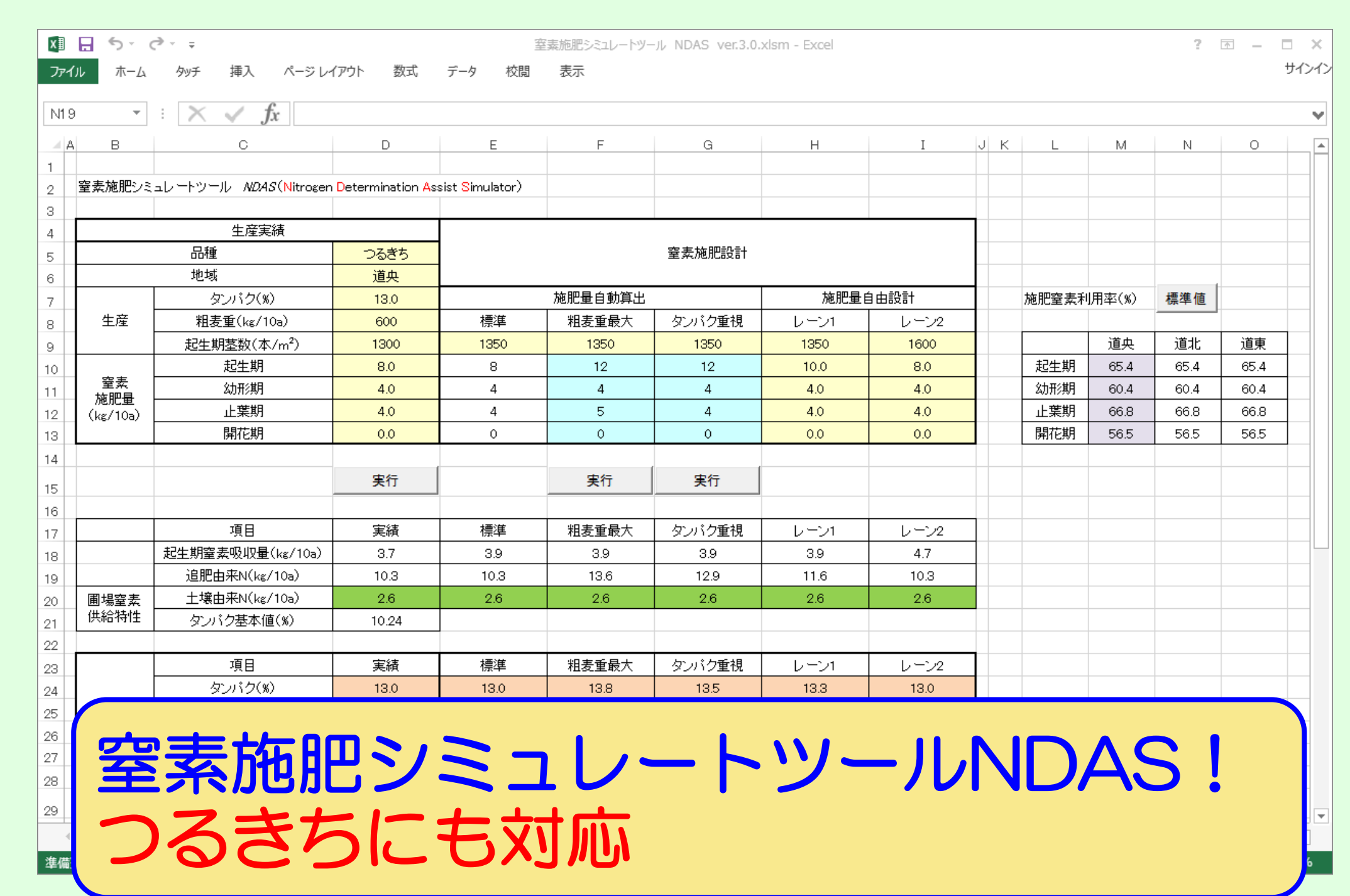


③止葉期葉色診断



葉色53以上は止葉期施肥を減肥します。減肥は、窒素施肥量4kg/10aにつきタンパクがおよそ1ポイント変動します。

④窒素施肥の調整には...



普及 Dissemination

- 「つるきち」に対応した窒素施肥シミュレートツールNDAS（MS-Excelファイル）は道総研HP（<https://www.hro.or.jp/list/agricultural/center/ndas/index.html>）から入手できます。「小麦 NDAS」で検索！

連絡先 Contact

中央農業試験場
農業環境部 栽培環境グループ
0123-89-2001（代表）
central-agri@hro.or.jp